



ひらしま 神楽

本場広島から
迫力ある神楽を
関西の地で

出演 上河内神楽団

第1部 公演

堺太鼓 和太鼓

日本武尊

草薙の剣

第2部 公演

堺太鼓 和太鼓

新編伊吹山

八岐大蛇

同時開催 14:10~15:00
神楽体験(衣装試着もあり)

令和6年3月30日 土
フェニーチェ堺 大ホール

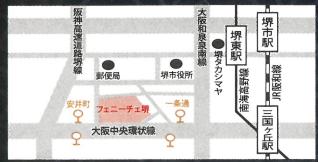
堺市堺区翁橋 2-1-1

<第1部> 12:00 開場 / 12:30 開演

<第2部> 14:50 開場 / 15:20 開演

各公演 S席 前売り券 4,500円 当日券 5,000円
A席 前売り券 3,500円 当日券 4,000円

自由席・完全入替制



南海電車：堺東駅下車、堺東駅西出口より徒歩約8分

チケットお問合せ (1) 堀神楽 tel:072-232-8596 (2) フェニーチェ堺 tel:072-223-1000 (3) チケットぴあ QR

主催/堀神楽 共催/安芸高田市・安芸高田神楽協議会 協力/近畿広島県人会・安芸高田市ふるさと応援の会関西地区 後援/堺市・堺市教育委員会・公益社団法人堺観光コンベンション協会



堺でひろしま神楽が公演されるのは、今回が初めてとなります。神楽の魅力を堺でも広めていきたいという思いで、令和2年4月に堺神楽を立ち上げました。今回は広島から神楽団をお招きし、本場の魅力をお届けしたいと考えています。本日の公演をご覧いただき、自分でも神楽がやりたいと思われた方、ぜひ私ども堺神楽と一緒に活動してみませんか？お気軽にお声がけください。公演の実現に当たりまして、共催をお引き受けいただいた広島県安芸高田市を始めとしてご協力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

堺神楽代表 篠 純子



出演者



さかいだいこ 堺太鼓

平成17年発足。堺太鼓と言う名は、「堺を代表するチームになる！」という強い思いから名付けました。3歳から大人までのメンバーが活躍中。プロ和太鼓奏者より直接指導を受け、日本国内だけでなく、海外でも演奏。和太鼓の魅力を世界に発信しています。



うえごうちかぐらだん 上河内神楽団

峰尻八幡神社の氏子を中心として、明治期から奉納活動を始める。その後、昭和初期になって「上河内神楽団」に改称。氏神社例祭での奉納神楽をはじめ、各地で出演。伝統的な舞を大切にしつつ、新たな舞台に挑戦し続ける。

第一部



やまとたける 日本武尊

悲運の英雄、日本武尊シリーズの第1幕となる作品です。第12代景行天皇の御代、熊襲(くまぞ)は九州一円を支配し、しばしば反乱を起こして、容易には朝廷に服属していなかった。天皇は王子の小碓命(おうすのみこと)にその熊襲征伐を命じる。熊襲の頭・川上梶帥(たける)が館の新築祝いの宴を催しているところに、小碓命は、旅の女になりますまし酒宴に忍び込む…。

くさなぎのつるぎ 草薙の剣

日本武尊シリーズ第2幕。

熊襲を平定した武尊は大和へ帰ると、帝は休む間もなく、東国平定の勅命を下される。東国へ旅立つ前に武運祈願のため、伊勢神宮へ参拝すると、叔母の倭姫(やまとひめ)から天照大神(あまてらすおおみかみ)伝承の天叢雲剣(あまのむらくものつるぎ)と神の御袋を授かる。一行が駿河の国にさしかかると良民を悩ます妖怪退治を依頼される。しかし、それは武尊を陥れるための罠だった。

第二部



いぶきやま 新編伊吹山

日本武尊シリーズ完結編。

東国を平定し、大和へ向かう武尊に近江の国伊吹山の大鬼神を成敗せよと勅命が下される。度重なる戦に疲れ果てた尊は、気力を振り絞り、大鬼神に立ち向かうが…

やまたのおろち 八岐大蛇

この神楽は古事記の神話を神楽にしたもの。高天原(たかまがはら)より出雲に降りられた素戔鳴尊(すさのおのみこと)は、斐の川(ひのかわ)で嘆き悲しむ足名椎(あしなづち)、手名椎(てなづち)、奇稻田姫(くしいなだひめ)に出会う。大蛇(おろち)退治を決意した尊は、毒酒を作らせ巧みに大蛇にそれを飲ませ、やがて酔い臥した大蛇と大格闘の末退治する。この時大蛇の尾から出てきた剣を天叢雲剣と名付け姫の天照大神に献上することになる。

